

見事完成！光ったよ

親子電子工作教室

花夢パルアマチュア無線クラブ(阿部一仁会長)は1月8日、花夢パルで「親子電子工作教室」を催しました。一関高専の協力を得ながら、27組の親子が「光ってナイト・センサー」の製作に取り組みました。

夏の工作に続いての開催でしたが、これまでにない部品の多い工作に、参加した親子は休憩時間を惜しみはんだ付け作業に夢中になりました。センサーライトは市販の製品も多い中、使い道を考えながら、オリジナル作品を見事に完成させた皆さんは、ものづくりの楽しさ、親子のふれあいを深めていました。



はんだごてを使って慎重に部品を取り付ける親子

from
HANAYAMA
花夢



千本ぎねで元気にもちつきを体験した保育園児

初めて体験！小正月

千厩商工青年部が出前もちつき

千厩保育園(菊地節子園長・園児103人)の園児は1月12日、千厩商工会青年部(菊地宏太郎部長・部員42人)の「出前もちつき」の訪問を受けました。園児たちは、訪れた同部員とともに青空の下、一緒にもちをつき新年を祝いました。つき上がったもちは、きな粉もちと納豆もちにして食べたほか、まゆ玉ならしに使われ玄関やホールに飾られました。小正月行事を初めて体験する園児も多く、担任の保育士から行事のいわれを聞いた後、小さく丸めた紅白のもちを苦戦しながらミズキに飾り付けていました。

from
SENMAI
千厩

パンダと一緒に学んだよ

釘子保育園で交通安全教室

釘子保育園(昆野範子園長・園児14人)の交通安全教室修了式は12月12日、同園で行われました。

この教室は、年3回行われるもので、最終回の今回は、岩手県交通安全協会の加藤美加子さんが腹話術で演じるトマルくんや、パンダのルンルンと一緒に、1年間の復習と4月からの小学校への通学の注意点を勉強しました。子どもたちは交通安全の歌をみんなで歌って、事故に遭わないよう誓い、最後に3月に卒園する園児5人に室根駐在所の高瀬誠所長から修了証書が手渡されました。



「右見て、左見て」と交通安全について学びました

from
MURONE
室根



無火災の願いを込め、纏を力強く振る消防団纏組

火消しの心意気勇壮に披露

消防団一関地域本部

市消防団一関地域本部(佐藤慶一本部長・団員約700人)纏組による初纏振りは1月2日、大町通りと一関駅前で行われました。1年の無火災を願って毎年この日に行われているもので、振り手は、重さ約20kgもある纏を勢いよく回しながら勇壮な纏振りを披露しました。

また、はしご乗りも行われ、乗り手は高さ6.5mのはしご上で、体全体でバランスを取りながら「一本遠見」や「谷覗き」などの技を華麗に披露。最後は2人が同時にはしごに乗り、「腹亀」「膝掛け」の大技と共に「火の用心」の垂れ幕を下げ、初売り客でにぎわう通りからは盛んな拍手が送られていました。

from
ICHINOSEKI
一関

異文化を肌で体験

大東地域中学生海外派遣事業

将来を担う青少年に国際交流と研修の場を提供することなどを目的とした大東地域の中学生海外派遣事業は1月4日から13日までの日程で、米国サンフランシスコで行われました。

参加した10人の生徒たちは、現地のホストファミリーとの交流や施設見学、学校訪問と授業参加などを行い、アメリカの土地、文化などを肌で感じた様子でした。現地を離れる際には、思わずホストファミリーとともに涙ぐむ生徒もいるなど、生涯忘れられない体験になりました。



現地の学校で、日本の紹介をする生徒たち

from
DAITO
大東

まちのトピックス

地域で開催されたイベントや身近なできごとを紹介します

in
Ichinoseki

今年1年の幸福を願い

磐井清水若水送り

新年最初に汲んだ松川地区の磐井清水を平泉町中尊寺に届ける若水送りは1月1日未明、行われました。

例年に比べて雪もなく穏やかな年明けとはいえ、深夜の寒さは格別。厳しく冷え込んだ中、約180人の参加者は、若水の入ったおけを地面につけずに担ぎながら、中尊寺を目指して約20kmの道のりを歩きました。

午前2時に出発した一行は、およそ5時間で柳之御所跡に到着。白丁姿の参加者は、東方から昇る初日に照らされながら、無事中尊寺金色堂に若水を進上しました。

若水送りは藤原秀衡公が磐井清水を若水として迎えた故事にちなみ平成5年に再現され、現在まで続いています。



若水汲みの儀を行う新田大智ちゃん(松川保育園)と父の季之さん

from
HIGASHIYAMA
東山



勇壮に獅子が舞い、各戸から悪魔を払いました

家内安全願い勇壮な舞

布佐地区で熊野神社獅子舞

川崎町布佐地区の熊野神社獅子舞は1月7日行われ、地区内の全戸を回り厄払いと家内安全を祈りました。同地区では「お獅子様」と呼び親しまれる新春恒例の伝統行事で、各家庭の玄関先から獅子が頭を振りながら家の中に入り、道化のお面をかぶった悪魔を家の外へと追い出すものです。

季節外れの雨の中、地区内の小学生もかっぱ姿で大鼓を担ぎ同行しました。地区の伝統行事に参加することで礼儀を身に付けるとともに、地区の一員としての意識を育てたいとの願いも込められています。

from
KAWASAKI
川崎